

利賀っ子だより



R3. 9. 29

～ 「チーム利賀」 ～

利賀小学校では、毎週水曜日は昼休みをふだんより 15 分間長く設定しています。この時間をどのように使うかは、子供自身が考えることになります。

昼休み時間に校内を見て回ると、下の写真のように実に様々な過ごし方がありました。

学校の畑で育ててきたヘチマでたわしを作るために、ヘチマの実を煮てその様子を観察する子供、本番まで 20 日を切った学習発表会に向けて合奏や縄跳びを練習する子供、学習発表会で展示する作品を制作する子供など、それぞれが、自分で考えて有意義に過ごしていました。もちろん、その陰には、見守ったり、助言したり、場を整えたりする教職員の姿があります。担任の先生はもちろん、専科の先生、事務職員さん、学習サポーターさんまで総動員です。特に分担を決めたわけでもなく、打合せをしたわけでもありません。子供たちの思いや願いを汲み取っての姿です。子供たちのために「チーム利賀」で支援していく教職員がとても力強く感じた、嬉しい休み時間でした。

ヘチマのたわしを作るために、「煮る」「水につける」「自然乾燥」3 種類の方法を試しています。



4 年生の 3 人が声をかけ合って集まり、繰り返し合奏していました。

上級生のようにできる技を増やそうと、2 年生 2 人が汗だくになって縄跳びの練習をしていました。



合奏で大太鼓を担当する 3 年生の I さんは、リズムの確認をしていました。

5 年生は、初めて扱うミシンに苦戦しながら、エプロンを制作していました。



(高田 公美)